

持続可能な社会づくりのための環境教育の推進

～消費者視点から生産者視点への環境教育によって育む学力と環境保全意識～

I 本研究会の概要

1964年に公害対策研究会として発足。その後、環境教育、ESDと時代を反映した研究と教育普及を実践している。低炭素社会、生物多様性社会、資源循環型社会を目指すことは持続可能な社会づくりに繋がる。「持続可能な社会のづくり手の育成」として環境教育・ESDを推進し、将来世代の育成を行っていく。

研究部による研究を要とし、授業モデルの構築をするとともに、自然観察会や工場見学会等を実施している。

II 主題設定の理由

これまで東京都小中学校環境教育研究会は、人類の行き過ぎた社会活動が引き起こした環境問題に警鐘を鳴らし、持続可能な社会への改善を試みる教材化を進め、授業実践を進めてきた。例えば、気候変動に関する授業、食品ロスやプラスチックの廃棄等の問題についての授業、生産者視点での環境保全に向けた授業等である。多くの授業実践を取り組む中で、私たちの実生活では、給食の残菜、コンビニや飲食店の食料廃棄、化学繊維を大量に利用した衣料品廃棄など、今なお様々な場面で環境への負荷をかける生活を続けている。

—今だからこそ「地球温暖化防止対策」を考えさせたい—

子供たちの多くは、様々な環境問題について学ぶ機会が増え、環境保全意識が高まってきている。一方、実生活ではペットボトル飲料やファストファッションを無意識に手にしている状況にある。その現状を踏まえ、「地球温暖化」を実感している今だからこそ、地球温暖化防止に焦点を当て、授業実践を続けることでさらに環境保全意識を高めていく必要がある。

これまで本研究会が取り組んできたESDは、その実現を可能にすると信じている。それは教育の、教師の、そして児童・生徒の変容をまさに希求するものである。

III 研究の方法

- (1) 役員定例会で理論構成
- (2) 本研究会で作成した「新しい環境教育」で示した児童・生徒の3つの能力・態度を基に、研究部において授業開発、授業実践を行う。

地球温暖化の現状を知り、その対策がどのように行われているかを調べ、自らが生涯にわたる環境保全への継続的な意識を高めるためのモデル授業の構築を行う。

【モデル授業の構築】

小学校 第4学年 総合的な学習の時間、
中学校 第2学年 理科等

「100年後の気温を考える。」

- (3) 研究発表校、研究部員所属校、外部機関、企業と連携し研究実践を深める。

【実践】研究員の所属校で授業実践

- (4) 事前・事後アンケートを活用した変容を調査

IV 研究の過程

- (1) 学校現場での ESD の推進状況の確認
- (2) 昨年度の研究成果の検証
- (3) 地球温暖化を考えるための教材、単元開発、授業構築
- (4) 研究部員の学校における授業実践
- (5) 事前・事後アンケートによる効果検証

V 授業実践例

東京の過去の気温データ（気象庁データ）を基に、100年後の気温を予想することで、気候変動に関心をもち、地球温暖化防止対策を具体的に考え、行動する意識の醸成を図る。

以下の単元で、単元開発、授業実践を行った。

- (1) 小学校 第4学年 総合的な学習の時間
「地球温暖化から考える多摩川の未来」
- (2) 小学校 第4学年 総合的な学習の時間
「グリーンカーテンプロジェクト」
- (3) 中学校 第2学年 理科
地球の大気と天気の変化「地球を取り巻く大気のように」

<共通の内容>

- ・100年後の気温を予想する。
- ・地球温暖化のスピードを少しでも遅くするためにはどうすればよいか考える。
- ・今行われている取組（HTT）等について調べ、自分たちにもできることを考える。

VI 成果と課題

【成果】100年後の気温を予想し、考え、調べていくことで、地球温暖化防止を自分事として捉える児童・生徒が増加した。

【課題】教員一人一人が現代の抱える環境問題をより一層深く知り、子供たちとともに考える必要性が明確になった。

VII 本研究会のその他の活動

(1) 研修会

- ・自然観察会（8月4日）御岳山
- ・夏季研修会（8月7日）
J-POWER 発電所見学会
- ・夏季研修会（8月8日）
スチール缶・リサイクル見学会
- ・夏季研修会（8月9日）
東京都環境公社共催 Web 開催
- ・動物園観察会（2月）未定



自然観察会(8月)のようす

(2) 第 59 回東京都小中学校環境教育研究発表会

（第 55 回全国小中学校環境教育研究大会と共催）

日時 令和6年1月26日 13時30分

場所 エコルとごし

講演 「気候危機にどう向き合うか～参加者とディスカッションを交えて～」

講師 東京大学未来ビジョン研究センター 教授

国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員 江守 正多 氏

<連絡先>

団体名		東京都小中学校環境教育研究会
代表者	所属	調布市立上ノ原小学校
	職 氏名	校長 箱崎 高之
	連絡先	042-485-1271
事務局	所属	世田谷区立玉堤小学校
	職 氏名	校長 伊藤 修久
	連絡先	03-3701-1536